

団体名 東京都弱視教育研究会

東京都弱視教育研究会は、都内の都立盲学校、筑波大学附属視覚特別支援学校、都内弱視通級指導学級12校（小学校9校、中学校3校）により構成され、弱視児童・生徒が視覚障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する力を身に付けられるよう効果的な指導内容・方法について主題を設定して研究活動を行っています。

令和3年度研究主題

「弱視児童・生徒の自立活動に関する指導内容・方法の研究」 —発達段階に応じた自己理解の指導の在り方—

研究授業

第1回 令和3年7月5日(月) 町田市立本町田東小学校
題材名 「自分のことを知ってみんなに伝えよう」
指導講師 広島大学 准教授 氏間 和仁 様
※オンラインでの実施

第2回 令和3年11月5日(金) 練馬区立開進第三中学校
題材名 「中学卒業後の援助依頼について考えよう」
指導講師 広島大学 准教授 氏間 和仁 様

公開授業

令和3年12月6日(月) 都立八王子盲学校
題材名 数学「問題演習(三角比)」

資料提供

※オンラインでの実施

自校の実践事例を発表し、弱視教育に関する研修・情報交換を行う。

令和3年6月7日(月) 江戸川区立小岩小学校
・学級紹介
・床ボルダリングの紹介

令和3年9月6日(月) 練馬区立中村西小学校
・自立活動の6区分を踏まえた評価規準について

講演会・研修会

○記念講演

令和3年4月23日(金) ※オンラインでの実施
演題:「弱視の子どもの主な疾患と配慮について」
講師: 国立成育医療研究センター
眼科診療部長 仁科 幸子 様

○見学会(講演会)

令和3年7月26日(月) ※オンラインでの実施
演題:「視覚に障害のある学生の支援について」
講師: 慶應義塾大学 経済学部教授 中野 泰志 様

○講演会

令和4年1月11日(火)
演題:「児童・生徒一人一台タブレット時代の効果的な活用や使いやすいアプリについて」
講師: 愛知教育大学 准教授 相羽 大輔 様

【うへのZ〇〇スクール】 令和3年12月5日(日) 主催:(公財)東京動物園協会 恩賜上野動物園 教育普及課 子ども動物園係
弱視児童のための特別プログラム「モルモットのひみつ」を共同企画・運営

◇第1回 専門性向上研修

令和3年6月7日(月) ※オンラインでの実施
演題:「遠用弱視レンズの基本知識と指導について」
講師: 江戸川区立小岩小学校 主任教諭 豊田 裕美

◇第2回 専門性向上研修

令和3年9月6日(月) ※オンラインでの実施
演題:「弱視教育のための教材紹介」
講師: 筑波大学附属視覚特別支援学校小学部
主任教諭 山田 毅

【日本弱視教育研究会 全国大会(オンライン研修会)】

開催期間: 令和4年1月14日(金)～3月31日(木)
後援予定: 文部科学省、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、
全国盲学校長会、宮城県特別支援学校長会、
東北盲学校長会、日本教育会

研究調査

「自己理解の深まり・援助依頼の実態について」(研究推進担当)

対象: 都内盲学校・視覚特別支援学校、都内弱視通級指導学級担任

方法: アンケート調査

新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、2年前より自己理解の指導内容と工夫について研究してきた。児童・生徒の自己理解の深まりと援助依頼の実態に焦点化した指導実践を知ることで、これまでの実践や研究結果の成果と課題を明確にし、今後の指導に役立てることを目的とした。

「弱視児童・生徒の見えにくさ以外の困り感への指導方法」(資料整備担当)

対象: 都内盲学校・視覚特別支援学校

都内弱視通級指導学級担任

方法: アンケート調査

見えにくさだけではなく困り感を有する児童・生徒への関わり方について、各校の実態・実践を調査し、弱視通級指導における参考資料の作成を目的とした。

代表者

世田谷区立笹原小学校
校長 後藤 真司

連絡先

世田谷区立笹原小学校
主任教諭 北川 由美
TEL 03(3428)9254(直通)